

基本目標Ⅴ 国際的協調と国際理解の推進

<注>

- 予算額の「-」は、事業としては行うが、その事業のみでの予算額の算定は困難なものを表す。
（例）公共施設建設の際の高齢者への配慮など

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 1 国際的協調の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
					平成27年度 予算額(千円)		
180	男女平等参画に関する国際的な条約等の周知推進	国際社会における様々な取り組みと密接な関係にある条約等について、国際的協調のもと周知を図っていく。	図書・資料コーナーを整備し、周知を図った。	評価 B 前年度と同様に実施した。	—	引き続き周知を図る。	男女平等参画課
181	国際会議への市民の参加の支援	世界的視野で男女平等参画社会を推進するため、国際会議への市民の参加を支援する。	実績なし	評価 C	—	引き続き情報収集及び提供を行う。	男女平等参画課
182	人づくりを通じた国際協力の推進	JICA等の活動について、市報による啓発・広報活動の支援	広報みと3月15日号及び協会ホームページに、青年海外協力隊・シニア海外ボランティア募集記事を掲載	評価 B 主催者側のJICAと協議の上、広報協力を行うものである。前年度と同様、H26年度についても広報活動を行った。	—	広報みと等に記事掲載	文化交流課 (国際交流協会)

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
					平成27年度 予算額(千円)		
183	国際理解のための講座の開催	世界各国の生活・文化・歴史等の理解を深める。	<p>1 世界の料理講座 ～つくってみよう世界の料理～ 外国人市民を講師として招き、世界の様々な国や地域の料理を通して、それぞれの国の文化や習慣を学ぶ料理講座を開催した。</p> <p>①中国四川編 期 日：平成26年6月29日(日) 対 象：一般 内 容：回鍋肉(ホイコーロー)、冷拌茄子(ニャンバンチェズ)(夏野菜の中華和え)、搾菜拌豆腐(ザーツアイドウフ)(中華風豆腐サラダ)、青菜湯(チンツァイタン)(野菜スープ)といった中国四川の家庭料理の実習及び文化の紹介を行った。 講 師：黄 玲(中国・四川出身) 受講者数：15人</p> <p>②ペルー編 期 日：平成26年8月30日(土) 対 象：一般 内 容：ロモサルタード(牛肉と野菜炒め)、パパ ア ラ ワンカイナ(じゃがいものチーズソースかけ)、チチャモラーダ(紫とうもろこしジュース)といったペルーの家庭料理の実習及び文化の紹介を行った。 講 師：川又 美奈(ペルー出身) 受講者数：18人</p> <p>2 親子の国際講座(水戸ユネスコ協会青年部と共催) 小学生とその保護者を対象に、外国や日本の文化に触れることを通して、相互理解の精神を身につけ、多様な社会や文化の中で共に生きていく力を楽しみながら育むことを目的に実施した。</p> <p>①世界に誇る日本のお・も・て・な・し 期 日：平成26年6月7日(土) 対 象：小学生とその保護者 内 容：外国人に日本を紹介するための初歩的な知識や手法を育むため、正しいお箸の持ち方や日本のお正月遊び、</p>	<p>評価 B 前年度同様、定期的に市民向けの国際理解講座を開催した。</p>	548	<p>(1)親子の国際理解講座 6月、12月</p> <p>(2)青少年のための国際理解講座 7月～8月</p> <p>(3)国際理解のつどい 11月</p> <p>(4)世界の文化講座 6月～7月、11月～12月、1月～2月</p> <p>(5)世界の文化と芸術講座 1月～2月</p> <p>(6)世界の料理講座 6月～7月、11月～12月、1月～2月</p> <p>(7)ホビングリッシュ講座 6月～7月、9月～10月、1月～2月</p> <p>(8)子どものための国際教育講座 7月～9月</p> <p>(9)そのほかの国際理解講座 随時</p>	文化交流課 (国際交流協会)
					274		

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度 予算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
183			<p>日本についての豆知識など、世界に誇れる日本の礼儀、料理、技術についてクイズ形式で学ぶとともに、茶道体験(お手前の披露、豆知識、試飲)を行った。 受講者数：9人(子ども5人、保護者4人)</p> <p>②みんなで学ぼう！世界遺産たんけん隊 期 日：平成26年12月13日(土) 対 象：小学生とその保護者 内 容：世界遺産を通じて、各国の文化や特色に触れてもらうことを目的とし、4か国(ペルー、イタリア、トルコ、ロシア)に焦点をあて、クイズや遊びを通して世界遺産の知識を深めた。また、トルコ家庭料理「ムジュベル(ズッキーニのお焼き)」を留学生と作り、試食した。 受講者数：16人(子ども9人、保護者7人)</p> <p>3 世界とつながる子ども教室 多くの子どもたちに早期英語学習の機会を提供するとともに、語学学習だけではなく、コミュニケーションツールとしての英語に親しんでもらうことを目的として、世界のあらゆる人々との交流が可能となることを知ってもらう講座を開催した。</p> <p>①プチ体験！英語で授業 期 日：平成26年8月15日(金)、16日(土)、17日(日) 対 象：小学校(低学年、中学年) 内 容：「Let's sing!えいごのうた」、「Art Time!メッセージカード作り」、「Game & Fun!えいごのゲーム」などの活動を通して、英語に慣れ親しんだ。 講 師：フィリップ・グレゴリー(アメリカ出身・英語講師) エイキンス・パーコフィー(ガーナ出身・英語指導助手) ミシェル・カスティリオ(フィリピン出身・英語指導助手) 受講者数：29人</p> <p>②世界でひとつ！グリーティングカード作り 期 日：平成26年12月21日(日) 対 象：小学生(中学年以上) 内 容：ガーナ伝統行事について紹介するとともに、諸外国で12月に多くやり取りされるグリーティングカード作りを行った。</p>				文化交流課 (国際交流協会)	

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度 予算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
183			<p>講師：エイキンス・パーコフイー (茨城大学附属小学校英語指導助手) 受講者数：10人</p> <p>4 青少年のための国際理解講座 次世代のグローバル社会を担う青少年を対象に、外国語や外国文化に触れる機会を設け、広い視野を持った国際感覚を育むことを目的に講座を開講した。</p> <p>①日本を飛び出せ！宇宙飛行士の仕事とは？ 期 日：平成26年7月27日(日) 対 象：中学生、高校生 内 容：宇宙研究開発機構(JAXA)種子島及び筑波宇宙センターにおいて所長を歴任し、宇宙飛行士の教官を務めていた方を講師に迎え、日本人宇宙飛行士・若田氏のミッションを中心に、ロシアとアメリカが台頭した宇宙開発の歴史や宇宙飛行士の仕事などについて学んだ。 講 師：菊山 紀彦(宇宙アカデミーきくやま主宰) 受講者数：10人</p> <p>5 なるほど！世界セミナー 各分野の専門家を講師として招き、世界の文化、歴史、社会、そして現地の見どころなどを通じて、国際理解を深めることを目的とした講座を開催した。</p> <p>①昆虫の社会と世界の自然 期 日：平成26年7月1日(火)、8日(火) 対 象：一般 内 容：シロアリなどの社会性昆虫に焦点をあて、オーストラリアやアジア・南アフリカを中心に、世界の自然や文化、国・地域の魅力について理解を深めた。 第1部(7/1):ふしぎなシロアリの社会とオーストラリアの自然 第2部(7/8):アジア・南アフリカの自然・文化と昆虫 講 師：北出 理(茨城大学理学部准教授) 受講者数：23人</p>				文化交流課 (国際交流協会)	

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度 予算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
183			<p>②台湾の歩き方・楽しみ方 ―台北を中心に― 期 日：平成26年10月24日(金), 31日(金) 対 象：一般 内 容：台北を中心に街の様子やガイドブックには載っていない 現地の歩き方などについて理解を深めた。 第1部(10/24):映画「千と千尋の神隠し」の不思議な町 第2部(10/31):MRTで行く台北の歩き方 講 師：増子 和男(茨城大学教育学部教授) 受講者数：53人</p> <p>③地球科学の眼で世界を眺めると 期 日：平成26年11月11日(火), 18日(火) 対 象：一般 内 容：地球科学の視点から、地球の過去や現在について考える 方法について学びながら、世界地図を「変動帯」と 「安定大陸」に分けて地学的な観点から様々な地域の 建築文化や景観の違いなどについて理解を深めた。 第1部(11/11):地球科学者はどのように時空を飛ぶのか? 第2部(11/18):地球科学の眼で見ると世界はどのように 見えるのか? 講 師：伊藤 孝(茨城大学教育学部教授) 受講者数：18人</p> <p>④メキシコ世界遺産の旅 -マヤ・アステカから現代まで- 期 日：平成27年2月15日(日) 対 象：一般 内 容：メキシコの古代文明の遺跡を中心とし、メキシコの伝統 文化の踊りや現代の町の見どころ、食文化などについて 理解を深めた。講座終了後、メキシコの伝統料理 「ポソーレ」を囲んで講師・参加者の交流を深めた。 講 師：岩崎 賢(茨城大学・常磐大学非常勤講師) 受講者数：54人</p> <p>6 ホビングリッシュ講座 「ホビー(趣味)」と「イングリッシュ(英語)」を合わせた造語 「ホビングリッシュ」。毎回異なったテーマを取り上げ、外国人 講師とともに英語で取り組むことにより、参加者が自然な英会話 を楽しみ、講師との交流から外国文化への理解を深めることを</p>				文化交流課 (国際交流 協会)	

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度 予算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
183			<p>目的として実施した。</p> <p>①イタリア編 期 日：平成26年6月22日(日) 対 象：一般(英語初級者向け) 内 容：イタリア料理を通して、欧米文化について英語で学んだ 講 師：エルネスト・ホアキン(水戸市英語指導助手) 受講者数：21人</p> <p>②赤毛のアン編 期 日：平成27年2月28日(土) 対 象：一般(英語中上級者向け) 内 容：北米の文学作品「赤毛のアン」を題材に、作品を通して 作品の舞台や概要について、参加者同士の意見を交え ながら英語で学んだ。 講 師：ジョイス・カニンガム(茨城大学名誉教授) 受講者数：26人</p>				文化交流課 (国際交流 協会)	

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
					平成27年度 予算額(千円)		
184	外国人と市民との交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流パーティーの開催 国際理解のための外国人紹介 どようサロンの開催 	<p>1 国際交流パーティーの開催 市内及び水戸市近郊に在住する外国人市民と地元市民がお互いの文化を紹介し体験するとともに、交流パーティーを通して相互理解を深めることを目的として開催した。</p> <p>(1)お月見パーティー (ラブニールと共催) 期 日：平成26年10月18日(土) 内 容：お月見をテーマに日本文化の紹介を行ったほか、日本語教室の生徒による発表会や地域住民と外国人市民との交流を図った。 参加者数：135人(うち外国人 68人)</p> <p>(2)新春パーティー(ラブニールと共催) 期 日：平成27年1月24日(土) 内 容：日本文化(着付け、けん玉、書道、折り紙、茶道)を紹介したほか、日本語教室の生徒による発表会や地域住民と外国人市民との交流を図った。 参加者数：112人(うち外国人 44人)</p> <p>2 国際理解のための外国人紹介 国際理解推進のため、市内の学校や公的機関等が、国際交流に関する講座等を開催する際に外国人市民を紹介した。 紹介数：8件(小学校4件、中学校2件、高校2件) 紹介者数：26人</p> <p>3 どようサロンの開催 (1)どようサロン -マルチリンガル- 国籍や言語に捉われない交流の機会を提供し、市民の国際感覚の醸成や国際理解の増進を図ることを目的に、毎月第1・3・4土曜日などに開催した。 実施回数：30回 参加人数：640人(うち外国人 130人)</p>	<p>評価 A 前年度同様、外国人と市民が互いの文化を紹介し体験するとともに、相互理解を深めることを目的として、国際交流パーティー及びどようサロンを開催した。また、新規事業として、どようサロンのパーティーを行った。</p>	289	<p>(1)国際交流パーティーの開催 時期：10月、1月(年2回)</p> <p>(2)国際理解のための外国人紹介 時期：随時</p> <p>(3)どようサロンの開催 時期：毎月第1・3・4土曜日(月3回)</p> <p>(4)どようサロンパーティーの開催 時期：5月、9月、11月</p>	文化交流課 (国際交流協会)
					227		

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度 予算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
184			(2)ティーパーティー ゲストスピーカーを招いて、自国の文化等についての紹介を通して異文化理解を深めてもらうとともに、外国人市民と地域住民との交流や市民同士が情報交換することで相互理解を深める場を設けた。 実施回数：3回 参加人数：82人（うち外国人 14人）					文化交流課 (国際交流協会)
185	国際交流に関する情報の収集及び提供	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙の発行（日本語版） ・外国及び日本の文化、国際交流等に関する図書・資料等を収集した図書コーナーの充実及びインターネットによる情報の提供 	<p>1 協会機関紙等による情報発信</p> <p>(1)協会機関紙の発行 日本語版：3回発行（5月，11月，3月：各1,500部作成）市内公共施設，姉妹都市関係者及び寄付者などを中心に送付 5月(49号) 平成26年度の事業計画 11月(50号) 水戸市学生親善大使派遣，特集：世界とつながるこども教室，多文共生事業 等 3月(51号) アナハイム市親善訪問団派遣 特集：防災対策(講座報告)，事業報告 等</p> <p>(2)広報資料の頒布 情報発信の一環として，協会作成のエコバック，クリアファイル，英文地図といった広報用資料を頒布した。</p> <p>(3)図書・資料等の収集及び提供 日本語教室用の教科書や国内外の図書及び資料等を収集し，提供した。</p> <p>(4)パソコンの利用・提供 情報コーナーにパソコンを設置し，来館者に提供した。 パソコン利用：309件（うち外国人148人）</p> <p>(5)ホームページによる情報提供 ホームページによる協会の最新情報，事業内容，運営情報等を提供した。 訪問者数：22,235件</p>	<p>評価 A</p> <p>前年度同様，機関紙の発行やホームページによる情報提供等を行った。既存の手法のほか，広報活動促進として，PRカードを作成し配布したり，ソーシャルネットワーク(Facebook)活用など，積極的に情報発信に努めた。</p>	1,160		<p>(1) 協会機関紙の発行</p> <p>(2) 資料の収集及び提供</p>	文化交流課 (国際交流協会)

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度 事業計画	担当課
					平成27年度 予算額(千円)		
185			(6) 広報活動促進事業 水戸市国際交流センター及び当協会の活動を広く知ってもらうため、PRカードを作成し、地域住民及び外国人市民に広く配布した。 言語：日本語(ルビ付き)、英語 規格：名刺サイズ(両面4色カラー) 作成枚数：5,000枚 配布先：外国人市民、日本語教室、日本語学校、大学機関(留学生センター等)、市内公共施設、地域商店街、飲食店など				文化交流課 (国際交流協会)
186	英語教育や国際理解教育の充実 (再掲)	(再掲21)			(—)		総合教育研究所
					(—)		

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
					平成27年度 予算額(千円)		
187	民間団体(NGO)等の交流活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流のつどいの開催 利用者団体連絡会の開催 日本語ボランティア団体連絡会(5団体/月)及び研修会の開催 	<p>1 国際交流のつどいの開催 市民及び外国人市民との交流の場を提供するとともに、市民の国際理解の推進を図った。また、平成25年12月に「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネスコの世界無形文化遺産に登録されたことに合わせ、関係団体等と連携し、和食と世界の文化的な繋がりや違いを紹介する事業を同時に開催した。</p> <p>(1)各種パネル展の開催 期 間：平成27年2月21日(土)～3月21日(土) 観覧者数：548人</p> <p>①国際交流団体活動紹介パネル展 内 容：水戸市国際交流センターを拠点として活動する国際交流団体等の日頃の活動状況を紹介するパネル展を開催した。 なお、3月7日(土)には、「イベントデー」と称し、国際協力のためのグッズ紹介や、各団体のスタッフによる活動説明コーナーを開催した。 参加団体：16団体</p> <p>②「和食でつながる世界の輪」紹介展 内 容：和食文化と世界とのつながりを写真パネルや展示物などとともに、紹介した。 協 力：日本蕎麦「にのまえ」</p> <p>(2)講演会「和食でつむぐタンゴの国」の開催 期 日：平成27年3月15日(日) 講 師：眞家 一氏(日本蕎麦「にのまえ」店主、元JICAシニアボランティア日本語教師) 内 容：和食のお惣菜作りを通じて、アルゼンチンにおける日系人コミュニティーへの活動支援や、日本の文化をアルゼンチンに広げていく様子を映像資料とともに紹介した。 参加者数：43人</p>	<p>評価 B 前年度同様、国際交流のつどい、利用者団体連絡会議およびMIJ研修会を行った。</p>	181	<p>(1) 国際交流のつどいの開催</p> <p>(2) 国際交流団体連絡会の開催</p> <p>(3) 外国人に日本語指導をしているボランティア団体への支援</p>	文化交流課 (国際交流協会)
					265		

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度 予算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
187			<p>(3)サロン交流会の開催 期 日：平成27年3月7日(土) 講 師：ロナルド・ファイリッケーシュミット氏(茨城大学 人文学部准教授) 内 容：市内在住のスロバキア系カナダ人を講師に迎え、講師 から見えた和食の魅力や自国の食文化について紹介 するとともに、参加者の交流を行った。 参加者数：25人</p> <p>2 国際交流団体連絡会議 ボランティア団体間の情報交換やセンター利用などをテーマ として、水戸市国際交流センターを拠点として国際交流活動 をしているボランティア団体の連絡会議を開催しているが、 今年度は団体ごとに意見・要望等を把握し、そのつど個別に 対応した。</p> <p>3 外国人に日本語指導をしているボランティア団体への支援 ：MIJネットワーク支援 水戸市国際交流センターを拠点として外国人に日本語を指導 しているボランティア団体のネットワーク組織である。 「水戸市国際交流センターボランティア日本語教室ネット ワーク(通称：MIJネットワーク)」の活動を支援した。 内 容：日本語ボランティア団体が、毎月第2木曜日に行う 会議や定期的に実施する研修会等の活動を支援した。 研修会：①文化庁「標準的なカリキュラム案」について -5点セットの説明と教材の使い方- 期 日：平成26年9月21日(日) 講 師：吉田 聖子(公益社団法人日本語教育学会) 参加者数：26人 研修会：②外国人に関する法律を学ぶ -入管法改正、ハーグ条約等について- 期 日：平成27年3月1日(日) 講 師：秋山 安夫(弁護士・秋山法律事務所) 参加人数：27人</p>					文化交流課 (国際交流 協会)

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度 事業計画	担当課
					平成27年度 予算額(千円)		
188	世界の諸都市との交流の推進	国際親善姉妹都市アナハイム市及び友好交流都市重慶市を中心に、相互理解、友好親善を目的に市民間の交流を深める。 ・アナハイム市訪問団派遣 ・アナハイム市訪問団受入 ・重慶市親善訪問団派遣 ・重慶市からの訪問団受入 ・重慶市青少年交流団受入	1 国際親善姉妹都市アナハイム市との交流 (1)アナハイム市親善訪問団の派遣 期 間：平成26年10月26日(日)～11月2日(日) 8日間 派遣先：アナハイム市、ホノルル市 内 容：市役所表敬訪問、アナハイム市名誉市長25周年記念銘板献呈式(記念式典)ARTIC(アナハイム地域交通複合輸送センター)に関するプレゼンテーション、市内施設視察(ロアラ高校、アナハイムコンベンションセンター、エンゼルスタジアム、ARTIC駅ほか)、ハワイ観光戦略に関するプレゼンテーション、ホノルル市内施設等視察(ハワイコンベンションセンター、アリゾナ記念館、国立太平洋記念墓地、日本文化センターほか)、報告書作成 団 員：団 長 高橋 靖(水戸市長) 副団長 村田 進洋(市議会議員) 団 員 市民 男性13人、女性4人 市議会議員 男性4人 市職員 男性1人 協会職員 男性1人、女性1人 計 26人(男性21人、女性5人) (2)アナハイム市親善訪問の受入 期 間：平成26年11月15日(土)～11月21日(金) 来水者：ヘンリー・スーシー氏(前アナハイム市姉妹都市委員会委員長、水戸市AET現地リクルーター) 内 容：市長表敬訪問、水戸市総合教育研究所表敬訪問及び懇談、英語指導助手(AET)授業見学(千波中学校)、市内視察(偕楽園、アナハイム広場、国際交流センター等)	評価 B 親善訪問団の派遣などにより、友好親善を促進した。	1,509	(1) アナハイム市からの訪問団受入 (2) 重慶市への親善訪問団の派遣 (3) 重慶市親善訪問団受入 (4) 重慶市青少年交流事業 (5) 他諸都市との交流	文化交流課 (国際交流協会)
					2,023		

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度 事業計画	担当課
					平成27年度 予算額(千円)		
189	ホームステイ事業の実施	国際親善姉妹都市アナハイム市等と、青少年を相互に派遣し、ホームステイ等を通し相互の文化・習慣などについて理解を深める。	訪問団や学生親善大使の受入事業が中止となったため、ホームステイ事業を実施しなかった。	評価 C 訪問団や学生親善大使の受入事業は、相手国の事情を含めて調整のうえ、事業の実施を決定している都合上、ホームステイ事業を実施できない場合も想定される。	—	訪問団や学生親善大使の受入事業が実施されることが決定された場合、広報みや協会HPにより、ホストファミリー登録の募集を行う。	文化交流課 (国際交流協会)
190	学生親善大使事業の実施	・水戸市学生親善大使の派遣 ・アナハイム市学生親善大使の受入	1 水戸市学生親善大使の派遣 応募者：28人 (中学生14人, 高校生14人) 選考試験：平成26年6月5日(木) 書類選考 6月15日(日) 面接・集団討論 派遣期間：平成26年7月25日(金)～ 8月3日(日) 10日間 派遣人数：10人(中学生3人, 高校生5人, 団長1人, 協会職員1人) 団 長：幸川 秀策(水戸市立双葉台中学校教諭) 結団式：平成26年7月6日(日) 研 修：事前研修 平成26年7月6日(日), 13日(日), 20日(日) 事後研修 平成26年8月24日(日) 2 アナハイム市学生親善大使の受入(中止) 福島原子力発電所の事故による汚染水漏れなど、問題が解決されていないことから、派遣を見合わせたいとのアナハイム市側からの申し出があり、中止となった。	評価 B 前年度同様、水戸市学生親善大使を派遣し、友好を深めることが出来た。一方で、アナハイム市からの学生派遣は、震災以来、未だに回復していない状況にある。	1,993	(1)水戸市学生親善大使の派遣 (2)アナハイム市学生親善大使の受入	文化交流課 (国際交流協会)
					2,681		

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 3 市内在住外国人の支援

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
					平成27年度 予算額(千円)		
191	外国人を対象にした講座等の開催	外国人市民が水戸市や日本文化について理解を深める。 ・子ども向け日本語ボランティア 講師の学校派遣事業 ・市内ウォッチング ・日本料理教室 ・スキー教室 ・防災訓練	<p>1 子どものための日本語ボランティア学校派遣 日本語指導を要する在住外国人の子どもを対象に、水戸市国際交流センターにおいて毎週日曜日に日本語を指導した。また、団体が行う定例会や定期的実施する研修会等の活動を支援した。</p> <p>(1)子どものための日本語教室 対象児童・生徒数：12人 ボランティア数：9人 派遣回数：平成26年5月25日～平成27年3月15日(毎週日曜日) 計 174回(夏期補習含む)</p> <p>(2) 定例会 毎月第2木曜日に定例会を開催した。 (場所：水戸市国際交流センター)</p> <p>2 外国人のための日本文化体験事業の実施 (1) 外国人のための日本料理教室 期 日：平成27年2月21日(土) 対 象：外国人 内 容：春の食材を使った定番の日本料理(追いこみちらし寿司、はんぺんと三つ葉のすまし汁、菜の花からし和え、樺もち)の実習を通して、日本の伝統料理に親しむとともに、日本文化への理解を深め、日本での生活を豊かにすることを目的として実施した。 講 師：岡田 さかゑ(元中川学園調理技術専門学校講師) 参加者数：14人</p> <p>(2) 外国人のためのスキー体験教室(水戸市役所スキー部協力) 期 日：平成27年3月1日(日) 対 象：外国人 会 場：猪苗代スキー場(福島県耶麻郡猪苗代町)</p>	<p>評価 A 前年度同様、外国人市民に対し、水戸市や日本の文化の良さを理解してもらうため、各種事業を行い、相互理解を深めた。 また、災害弱者となりやすい外国人のための防災対策事業を強化し、防災訓練に併せて非常食に関しては、市民団体「みと男女平等参画を考える会」及び水戸市地域安全課と協力し、防災講座を新規に行うなど、情報提供や啓発に努めた。</p>	569	<p>(1)子ども向け日本語ボランティア (2)日本文化体験と市内ウォッチング (3)日本料理教室 (4)スキー体験教室 (5)防災訓練</p>	文化交流課 (国際交流協会)
					1,094		

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 3 市内在住外国人の支援

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度 予算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
191			<p>内 容：雪に触れる機会の少ない外国人にスキー体験教室を通して、日本の自然の良さを知ってもらうとともに、外国人同士の親睦・交流を図ることを目的として実施した。</p> <p>講 師：水戸市役所スキー部員 9人</p> <p>(3) 外国人のためのいばらき発見ツアー 期 日：平成26年11月21日(金) 対 象：外国人 内 容：外国人市民に水戸市の公共施設などを知ってもらい、今後積極的に利用してもらうとともに、参加者同士の交流を深めることを目的として実施した。市の公共施設のほか、水戸市周辺の地域の新しい魅力となりつつある地域振興施設や工場など、外国人市民が茨城県の魅力を再発見できる施設等を見学した。</p> <p>訪問先：ケーブデンキスタジアム水戸(水戸市小吹町)、茨城空港・空のえき そ・ら・ら(小美玉市与沢)、納豆博物館(小美玉市野田)</p> <p>参加者：10人</p> <p>3 外国人のための防災対策事業 地震などの災害が発生した際、外国人が文化や習慣、言葉の違いから大きな被害を受けてしまうことを防ぐため、防災意識の啓発や防災対策事業を行った。</p> <p>(1) 防災訓練 火災、地震発生時に適切な対応ができるよう大地震を想定し、地震及び火災の避難訓練や初期消火の訓練を行った。</p>					文化交流課 (国際交流協会)

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 3 市内在住外国人の支援

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度 予算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
191			<p>① 6月期 期 日：平成26年 6月20日(金) 参加者数：14人(外国人 5人, ボランティア等 1人, 協会役職員 9人)</p> <p>(2) 防災講座(みと男女平等参画を考える会, 水戸市地域 安全課と共催) 東日本大震災の教訓を生かし, 市民団体や水戸市と 協力し, 外国人市民に様々な防災対策事業を行った。</p> <p>① 7月期 内 容：「防災ノート」を使った防災情報の提供, シェイクアウト訓練, 防災グッズの紹介 などの説明を行うとともに, 災害時の非常食 (アルファ米, 缶詰, ペットボトル水)の 試食会を実施した。 期 日：平成26年 7月12日(土) 参加者数：63人(外国人23人, ボランティア・ 市職員等17人, 協会役職員 3人)</p> <p>② 12月期 内 容：シェイクアウト訓練, 避難訓練(救助袋体験を 含む), 消火訓練などを行うとともに, 災害時の非常食の試食会や避難所体験を 実施した。 期 日：平成26年12月 6日(土) 参加者数：51人(外国人20人, ボランティア・ 市職員24人, 協会役職員 7人)</p>					文化交流課 (国際交流 協会)

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 3 市内在住外国人の支援

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度 予算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
					—			
192	外国人の相談体制の整備・充実	生活様式や習慣の違いなどから生じる悩み事の相談に対し、アドバイスや情報を提供する窓口を設置する。 (随時、職員が対応)	1 相談窓口の常設 国籍等を問わず、生活様式や習慣などの違いから生じる悩みなどの相談に対し、アドバイスや情報を提供した。 内 容：運転免許証の取得・書き換えに関する事、住宅に関する事、在留資格に関する事、国内外における投資・会社経営に関する事、労使間のトラブルに関する事、医療・社会保障制度に関する事、就職、日本語学習、ボランティア活動、翻訳に関する事など 相談者数：296人(うち外国人212人) 相談件数：296件(電話・電子メール相談124件 来館相談172件)	評価 B これまで同様、国籍等を問わず生活様式や習慣などの違いから生じる悩みなどの相談に対し、アドバイスや情報を提供した。	—	—	相談窓口の常設	文化交流課 (国際交流協会)
193	外国語による公共表示の推進	公共表示の所管部署に対し、外国語による表示の推進を働きかける。	市内公共施設等の名称看板や案内板・ガイドマップの作成時など、機会を捉えて所管部署へ英語表記の周知・啓発を図った。	評価 B 水戸市サインマニュアルに基づき、公共施設等の看板については、外国語の併記を促している。 一方で、サインマニュアルは公共施設等のサイン計画における手引きであることから、強制力が伴うものではないため、関係団体への徹底を図ることが難しい。	—	—	平成26年度と同様	文化交流課

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 3 市内在住外国人の支援

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
					平成27年度 予算額(千円)		
194	外国語による情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> 多言語生活ガイドの作成 英文地図の提供 英語版避難場所地図/防災マニュアルの提供 「防災ノート」作成への協力 機関紙(3か国語版)の発行 協会ホームページ(英語, 中国語, ハングル)による情報提供 外国人のための生活情報紙の発行 	<p>1 多言語生活ガイド(リビング・インフォメーション)作成事業</p> <p>外国人市民の日常生活の利便性をより高め、快適で安全な生活を送ってもらうことを目的として、水戸市で生活する上で必要な情報を集約し、多言語で提供する生活ガイドを作成した。</p> <p>内 容：現行の「生活ガイドブック」を改訂したほか、緊急事態への対応、医療情報、法改正に伴う行政上の手続きの変更などの情報を追記し、当協会のホームページ上に掲載した。</p> <p>形 式：電子書籍(E-ブック)</p> <p>言 語：やさしい日本語(ルビ付き)、英語、中国語、韓国語</p> <p>2 英文地図の提供 英語で表記された水戸市の地図(MITO CITY GUIDE MAP)を頒布した。</p> <p>3 英語版避難場所地図/防災マニュアルの提供 英語で表記された水戸市内の避難場所地図及び地震などに対する防災マニュアルの頒布を行った。 (水戸市英文地図に掲載)</p> <p>4 防災意識啓発事業「防災ノート」作成への協力 水戸市と市民団体「みと男女平等参画を考える会」が、協働して実施した「外国人市民のための防災ノート」作成事業に協力した。</p> <p>5 協会機関紙の発行 3か国語版(英語, 中国語, ハングル) 1,000部を作成し、外国人市民等に配布した。</p>	<p>評価 A</p> <p>これまで同様、外国語による情報の提供を行った。また、懸案だった生活ガイドの改訂を行うことが出来た。更には、市民団体と市が協力して、「防災ノート」の改訂を行うなど、発信する情報の質の向上に努めた。</p>	1,529	<ul style="list-style-type: none"> (1)英文地図の提供 (2)英語版避難場所地図/防災マニュアルの提供 (3)機関紙(外国語版)の発行 (4)協会ホームページによる情報提供 (5)外国人のための生活情報紙(Culture Pot MITO)の発行 	文化交流課 (国際交流協会)

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 3 市内在住外国人の支援

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度 予算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
					118			
194			<p>6 ホームページ等による情報提供 当協会ホームページにおいて最新情報、事業内容、運営情報等を提供した。</p> <p>また、ソーシャルネットワーク (Facebook) を開設し、当協会主催のイベント情報や国際交流を問わない一般のイベント情報のほか、生活情報などを随時掲載した。 ホームページ訪問者数：22,235件</p> <p>7 外国人のための生活情報紙 (Culture Pot MITO) の発行 水戸市に住む外国人に対して、生活に役立つ情報をわかりやすく届けるとともに、水戸市への理解を深めてもらうことを目的として、隔月の生活情報紙を発行した。 発行言語：ルビ付き日本語版・英語版 (隔月発行)</p> <p>8 メール配信による情報の提供 メール配信を希望する外国人市民に対して、市内及び近隣市町村で行われるイベントや生活情報など、役に立つ最新情報を提供した。 配信言語：やさしい日本語 (ルビ付き)、英語 対象：外国人市民 (配信希望者) 内容：当協会実施の国際交流イベント情報 (国際交流パーティー、日本文化体験教室、防災講座ほか)、一般イベント情報 (フラワーマーケット、外国人ママの集まり、中秋の名月、まちなかフェスティバル ほか)、生活情報 (ごみの分別、暑中/残暑見舞い ほか) 配信回数：23回</p>		118			文化交流課 (国際交流協会)

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進
 主要課題 1 国際社会への参画促進
 主要施策 4 国際平和・地球環境保全への貢献

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
					平成27年度 予算額(千円)		
195	国際平和に関する展示等の開催	核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨に基づき、各種の平和事業を実施し、国際平和への意識啓発を図る。また、平和記念館において平和に関する展示を行うことにより、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるとともに、市民の平和意識の高揚を図る。	<p>1 「わたしたちの平和」作文コンクール 市内の小学5年生から中学3年生までの児童、生徒を対象に実施。応募総数 9,924点</p> <p>2 平和大使派遣 平和作文コンクールで優秀な成績を収めた12人を平和大使として広島市へ派遣し、平和記念式典への参加等を行った。(8月5日～7日)</p> <p>3 平和記念館で戦災資料の展示(来館者数 1,560人)</p> <p>4 語り部派遣による戦災体験講演 開催回数:11回</p> <p>5 ぴーすプロジェクト 平和記念館、博物館及び芸術館の3館の連携で、平和に関するイベントを集中的に実施した。(参加者総計:1,271人) ・戦災体験講演会「わたしは戦争を忘れない」(博物館) ・パイプオルガン・プロムナード・コンサート(芸術館) ・平和記念館常設展示リニューアルの実施(平和記念館) ・スタンプラリーの実施(平和記念館、博物館及び芸術館)</p>	<p>評価 B 多くの小中学生が平和作文コンクールや語り部講演に参加したことにより、子供たちが平和について考えるきっかけづくりができた。また、ぴーすプロジェクト等を開催し、様々なイベントを実施することにより、幅広い世代の平和意識の高揚を図ることができた。今後も、平和に関する各種事業を推進し、あらゆる世代における平和意識の醸成を図っていくことが必要である。</p>	9,657	<p>1 「わたしたちの平和」作文コンクール</p> <p>2 平和大使派遣</p> <p>3 語り部派遣による戦災体験講演</p> <p>4 平和記念館での戦災資料の展示</p> <p>5 ぴーすプロジェクト</p> <p>6 「終戦70周年平和を学び・つなぐ集い」の開催</p>	文化交流課
196	地球環境問題の啓発	地球温暖化対策について、水戸市地球温暖化対策実行計画に基づき市域全体の温室効果ガス排出量を削減するため、市民・事業者・行政が一体となった取組を実施していく。	<p>○温暖化対策度チェック 市民向けのアンケート形式のチェックシートにより、温暖化対策に役立つコツを紹介する事業を実施した。</p> <p>○エコライフチャレンジ 家庭での省エネ対策として電気の使用量に着目し、昨年同月や他の参加者と使用量を比較することにより、自身のエネルギー使用に関心を持ってもらう取組。市内の全世帯を対象としたほか、環境教育の観点から小学校の4年又は5年生を対象として実施した。</p>	<p>評価 B 地球温暖化対策のためには、個人の意識改革が必要であり、内容を工夫しながら、実施していく。</p>	258	<p>○温暖化対策度チェック 参加者に、成果の分かりやすい実施方法を検討</p> <p>○エコライフチャレンジ 実施時期をひと月前に変更し、参加意欲の向上を図る</p> <p>○メガソーラーみと発電所 個人用以外にも、事業所の参加をより、積極的に呼びかける。</p>	環境課
					460		

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進
 主要課題 1 国際社会への参画促進
 主要施策 4 国際平和・地球環境保全への貢献

No	具体的事業	事業の概要	平成26年度事業実績	事業の進捗状況	平成26年度 決算額(千円)	平成27年度事業計画	担当課
					平成27年度 予算額(千円)		
196			○メガソーラーみと発電所 市内の住宅、事業所等に設置されている太陽光発電を水戸のメガソーラーと仮定し、発電能力等を公表する事業を実施した				環境課
197	環境に配慮した施策の推進	地球温暖化を防止することや、雨水の有効利用及び地下浸透による地下水の涵養を促進し良好な水環境を創造することなどを目的とし、取組者に対して補助金を交付する制度を設けることにより、環境に配慮した機器等の普及促進を図る。	○住宅用太陽光発電システムの設置補助 補助件数 490件 補助額 29,170千円 ○雨水貯留・浸透施設設置補助 補助件数 36件 補助額 790千円	評価 B これらの補助制度により、住宅用太陽光システム及び雨水貯留・浸透施設の設置を助成し市内の設置箇所数を増加させることは、地球温暖化対策や地下水の涵養という直接的な効果だけでなく、未設置の市民への普及啓発効果も期待される。	29,960	○住宅用太陽光発電システム設置費補助制度(21,000千円) ※補助上限額が6万円から3万円に変更したが、件数は前年度同様の700件を確保 ○雨水貯留・浸透施設設置費補助制度(1,000千円)	環境課
		定期的な刊行物をつくることで、水戸市のごみ状況について多くの人に知ってもらい、ごみに対する市民の意識高揚を図る。	平成27年3月15日 1,500部	評価 A 昨年度新規で事業を始めたため	—	5月、7月、9月、11月、1月に発行する。	ごみ対策課
		毎日の生活の中で無理なくできるごみの減量・リサイクルの手法紹介とその実践を通して市民の方々にその大切さを認識してもらおう。	生ごみリサイクル講習会 10月21日(火) 49名 10月30日(木) 93名	評価 B 前年度同様の事業を実施した。	318	生ごみリサイクル講習会	市民生活課 ごみ対策課
					400		

